

●第 25 回「自然と環境講演会」 203 人が参加

久しぶりに 200 人を超える皆さんが親子でご参加いただきました。京都大学の西川完途准教授が「オオサンショウウオの生きた現物を持参できるのでぜひ多くの子供たちに直接観察させてください。その機会があれば喜んで出席します」との大変快い返事をいただき、先生の都合が付きましましたので、京田辺市立中部住民センターを会場にして開催しました。



2 月 20 日から参加受付を開始としてメールで先着 200 名で募集を行いました。主催はもちろん里山の会、ポレポレランド共催で、後援を京都府や京都府教育委員会、地元の京田辺市や教育委員会にもお願いして、市内の小学校の全児童に行き渡る 4500 枚のチラシを配りました。申し込みは里山の会のホームページからとしたところ、受付開始 2 日目には二つの小学校域を中心にして 170 名の参加に達してしまいました。

200 名が目前になり、これは予想を超える申し込みになるだろう、一部の小学校の児童に偏ってしまうのではないかと心配が先立ち、うれしい悲鳴になりました。スタッフの皆さんは 200 人を相手に、コロナ渦の中苦心して、先生に A 組、B 組の入れ替え制度で行いますから二回のお話をお願いしてきましたのに、C 組を追加して 3 回目のお話をお願いするのは難しいのではないかなど動揺がありました。事務局会議で喧々諤々の論議の結果、原則通りの方法でとの結論になりました。せっかくのチャンスにご参加を期待された多くの皆さんには申し訳なく思っています。

西川完途准教授は多くの子どもたちと保護者の皆さんに親切にわかりやすくヤマトサンショウウオの生態や特徴を語っていただきました。そして質問のある方と問いかけると前半の A 組の場合も、後半の B 組の場合も元気に質問が出されました。どんな食べ物を食べているのか、歯でモグモグするのか、満腹中枢があるのかなど想像もしていなかった質問が飛び出してきました。前後二回のお話は予定の時間をいっぱい一杯使ったの熱心なやり取りが続きました。



先の A 組がお話を聞いている間、後の B 組は京都大学生の皆さんが持ち込んでくれた動物の骨＝キリンの足の骨や、オオカミの毛皮、クマやトラの毛皮等の他、アカガエルの卵、そして生きている本物のオオサンショウウオの水槽を見て、学生さんや里山の会の方々から熱の入った解説に耳を傾けました。そして



帰り際には感想文をしっかりと書いてくれました。何とか会誌 54 号にその感想文を掲載できればと思っています。

保護者の皆さんも目を輝かせて聞き入る子供たちの熱心さに驚いておられました。今の学校ではタブレット等での授業が行われ、現地現場での体験が少なくなっているように聞いています。今回のような現物を自分の目で確認できるチャンスが大切なのではないのでしょうか。私たち里山の会はこうした現物に触れられるチャンスをしっかり開催できるよう頑張りたいと思っています。この日のためにスタッフとして頑張っていた皆さんご苦労様でした。参加者の方々の帰り時の顔には満足感があふれているのが何より良かったです。



●炭焼き体験を行います

3月3日に事務局の皆さんが原木を炭焼きガマの小屋に運搬してくれました。重くて太くて長いものも交じっていましたが、薪割り機で、適当な太さに調整していただきました。今年はしっかり炭焼きの伝統技術を学べる貴重なチャンスとするために、いろいろ工夫をお願いしています。関心をお持ちの皆さんのご参加を大歓迎いたします。



用意できた原木

11日（土）に原木の窯入れ、13日（月）8時に着火を予定しています。

週刊ニュースやホームページをご覧ください。里山の会にご参加の場合はご連絡を頂きますようお願いいたします。氏名・住所・年齢・電話番号をご連絡ください。

●里山展 3月7日～12日まで 京田辺市中央図書館ギャラリーにて

恒例の里山の会の活動報告として開催してきました「里山展」が7日（火曜日）の午前中に準備がされました。今年の展示は一昨日に行いました第25回自然と環境講演会に展示いただきましたオオサンショウウオの写真です。加えて竹蛇籠の設置を嵐山に保津川漁協さんで行いました。また京都市伏見区にある京都大学防災研究所・宇治川ラボラトリーの正面玄関に設置した中聖牛写真が特筆です。ぜひ多くの方々にご覧になっていただきたいと思います。12日（日）の午後15時に片付けが行われます。展示物の解説は里山の会員が終日説明いたします。ぜひお越しください。



●第15回親子花見乗船体験実施(4月1日) 準備始まる

春めいてきました早くも桜の開花予想も報道されています。この一週間はとても暖かな気温が続くと予想されているようです。これまでになく桜の開花が早くなりそうです。今年の親子花見乗船体験は4月1日に設定をしています。会場の府営団地連合自治会の会場予約は済ませました。また馬坂川の貯水をお願いしている綴喜西部土地改良区からも協力の了解も得ることができています。3月25日（土）に足場の組み立て及び周囲の清掃を予定しています。